

日本熱測定学会第3回通常総会

日時 昭和51年10月19日(火)16時40分開会
 場所 名古屋大学工学部2号館(第12回熱測定討論会第1会場)

1. 昭和51年度事業報告(昭和50.10.1~51.9.30)

(i) 会員現況 ()内は口数

	50.9.30	入会者	退会者	51.9.30
正会員	641	34	51	624
維持会員	49(98)	0	4(5)	45(93)

(ii) 集会および講演会

- 1) 委員会1回(50.11.19 福岡), 幹事会3回(東京), 編集委員会4回(大阪)
- 2) 第2回通常総会(50.11.20 福岡電気ビル)
- 3) 第11回熱測定討論会(50.11.19~21 福岡電気ビル)
- 4) 第12回熱測定討論会運営委員会(51.7.6 学士会館)
- 5) 第1回熱測定講習会(51.7.8~9 全ラ連会館)

(iii) 出版関係

- 1) 機関誌「熱測定」の発行 Vol.2, No.4 36頁, Vol.3, No.1~3 122頁, 合計158頁, 発行部数 800
- 2) 「熱・温度測定と熱分析1975年版」の発行および1976年版の編集

(iv) グループ活動

- 1) 熱分析用語法作業グループ(主査:神戸博太郎)
- 2) BTT情報収集作業グループ(Bull. of Thermodyn. & Thermochem. 主査:高橋洋一)
- 3) 計算機利用研究グループ(主査:小沢丈夫)
- 4) 熱分析共同測定作業グループ(主査:小沢丈夫)

(v) 国際協力

- 1) 第5回国際熱分析会議(ICTA V)組織委員会に協力
- 2) 国際学会組織との協力: IUPAC, ICTA, CODATA
- 3) 各国熱測定学会との協力:
 All Union Calorimetry Conference (ソ連)
 Association Francaise de Calorimetrie et d'Analyse Thermique (仏)
 Calorimetry Conference (米)
 Experimental Thermodynamics Conference (英)

French Experimental Thermodynamics Conference (仏)
 Gesellschaft für Thermische Analyse (ドイツ)
 North American Thermal Analysis Society (北米)
 Scandinavian Society for Thermal Analysis (北欧)
 Scientific Council on Thermal Analysis, USSR (ソ連)
 The Australian Thermal Analysis Society (オーストラリア)
 Thermal Method Group, Analytical Division, Chemical Society, England (英)

2. 昭和51年度収支決算(50.10.1~51.9.30)

()内は予算額

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	877,259	刊行費	2,101,040 (1,790,000)
正会員会費	1,187,500 (1,282,000)	事業費	3,100 (50,000)
維持会員会費	920,000 (980,000)	通信費	117,625 (90,000)
広告料収入	750,000 (600,000)	会議費	100,686 (137,000)
事業収入	656,810 (0)	交通費	198,240 (362,000)
雑収入	115,574 (75,000)	事務局費	750,000 (750,000)
		事務用品費	133,007 (120,000)
		雑費	45,158 (40,000)
		予備費	0 (50,000)
		ICTA基金	300,000
		次期繰越金	758,287 (125,259)
合計	4,507,143 (3,814,259)	合計	4,507,143 (3,814,259)

3. 会則の改正

- 1) 第4章第11条(会費)
 正会員 年額 3,000円
 維持会員 年額 20,000円(1回)以上
- 2) 第6章第19条(委員会)
 委員会は委員選挙規定により選出された約30名の委員および会長, 前期会長, 次期会長をもつ

て組織される。(以下省略)

3) 第6章第20条(幹事選挙)

委員会は幹事8名を互選をもって選出する

4) 第6章第22条(次期会長)

次期会長候補は幹事会が推せんし、委員会において選任する。

次期会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その執務を代行する。

4. 昭和52年度委員名簿

役 職	氏 名	所 属
会 長	関 集 三	阪 大 理
次期会長	大 塚 良 平	早 大 理 工
前期会長	武 内 次 夫	名 大 工
	市 原 祥 次	三 菱 油 化
	植 岡 澄 子	衛 生 研
	江 原 勝 夫	東 工 大
会計幹事	小 沢 丈 夫	電 総 研
	影 本 彰 弘	阪 工 大
	金 綱 久 明	織 高 研
	神 戸 博 太 郎	東 大 宇 航 研
幹 事	木 邑 隆 保	芝 浦 工 大
	沢 田 正 三	東 工 大
	斉 藤 安 俊	秋 田 大
	瀬 尾 利 弘	東 工 大
	高 橋 洋 一	東 大 工
	高見沢 徹一郎	九 大 工
幹 事	滝 沢 俊 治	群 馬 大 教
	田 中 達 博	東 工 試
幹 事	谷 口 雅 男	東 工 大
	土 屋 亮 吉	金 沢 大
	東 原 秀 和	京 大 工
幹 事	内 藤 奎 爾	名 大 工
	長 沢 敬 之 助	名 大 理
幹 事	中 瀬 吉 昭	原 研
	中 西 正 城	お 茶 大
	長谷田 泰一郎	阪 大 基 礎 工
	服 部 信	広 島 大 工
	平 野 賢 一	東 北 大
	松 尾 隆 祐	阪 大 理
編集幹事	村 上 幸 夫	阪 市 大 理
	安 田 武	武 庫 川 女 大
	矢 沢 彬	東 北 大 選 鉱 研
庶務幹事	山 内 繁	東 大 工
	横 川 敏 雄	北 大 理

5. 昭和52年度事業計画 (51. 10. 1~52. 9. 30)

(i) 集会および講演会

- 1) 委員会1回(51. 10. 18 名大), 幹事会4回, 編集委員会4回
- 2) 第3回通常総会(51. 10. 19 名大)
- 3) 第12回熱測定討論会(51. 10. 18~20 名大)
- 4) J.M. Sturtevant 講演会(日本生物物理学会と共催, 51. 11. 12 東大)
- 5) C. J. Keatch 講演会(日本分析化学会, 日本金属学会各関東支部と共催, 51. 11. 13 東大)
- 6) 第2回熱測定講習会(「生化学における熱測定」52. 5月末 大阪)
- 7) 第13回熱測定討論会運営委員会(討論会は11月下旬, 東京 2日間)
- 8) H. Tachoire 講演会(51. 12. 6 東大)
- 9) その他 講演会等の開催

(ii) 出版関係

- 1) 機関誌「熱測定」の発行 Vol. 3, No. 4~Vol. 4, No. 3
Vol. 4, No. 1より新投稿規定により Original paper を収録する。
- 2) 「熱・温度測定と熱分析1976年版」の発行と1977年版の編集

(iii) グループ活動

前年度に同じ

(iv) 国際協力

- 1) 第5回国際熱分析会議(ICTA V)の開催(52. 8. 1~6 京都国際会館)
- 2) 前年度に同じ

6. 昭和52年度収支予算 (51. 10. 1~52. 9. 30)

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	758,287	刊 行 費	2,440,000
正会員会費	1,872,000	事 業 費	210,000
維持会員会費	1,860,000	通 信 費	160,000
広 告 料	600,000	会 議 費	146,000
雑 収 入	95,000	交 通 費	400,000
		事 務 局 費	900,000
		事 務 用 品 費	150,000
		雑 費	40,000
		予 備 費	50,000
		次期繰越金	689,287
合 計	5,185,287	合 計	5,185,287